平成２９年度 学校教育目標・学校運営の重点

校　訓　「誠を尽くし、創造性を育てる」

１．学校教育目標

自分を大切に　他人(ひと)を大切に　命を大切に

２．学校運営の重点

基本的人権の精神をあらゆる教育活動の根底に据え、平和的な国家及び民主的な社会の形成者として必要な資質を養うため、教職員が一致協力して教育目標の達成に努め、一人ひとりを大切し、安心して学校生活をおくることができる学校、地域に開かれた特色ある学校づくりをすすめましょう。

＜目指す学校像＞

「笑顔に会える学校」（生徒が自由に安心して学び、笑顔で生活できる学校）
「時代の変化に対応した学校（生きる知恵をもった生徒を育成する学校）
「地域に信頼される学校」（地域・保護者に自信を持って生き方を語れる学校）

① 人と人のつながりを大切にする学校
② 笑顔であいさつをする学校
③ 落ち着いて学習に取り組める学校
④ みんなでつくるきれいな学校
⑤ お互いを高め合える学校

＜具体的な指導目標＞

① 人の話は目と耳と心で聴く（学力保障の原点）
② 基本的生活習慣の確立（生活指導の基本）
③ 力関係をなくす（集団づくりの原則）
④ 人の心と身体を傷つけない（信頼関係づくりの基盤）

教育内容の充実を図り、教科授業・道徳教育・特別活動・総合的な学習の時間等のあらゆる教育活動を通して“仲間づくり”を進め、人としての“生き方”を考えさせる。

３．学習指導の重点

生徒は学校での多くの時間を授業で過ごします。学習指導(授業づくり)を大きな柱にしていきます。『学力』とは、『テストの点数』だけではなく、『仲間とつながる力』や『学びにつなげる力』といった力のことでもあると考えます。「わかった、できたを感じさせるような授業づくり」など、日々の授業にねらいをもって積み上げていきます。

① 学習内容を焦点化して常に検討・評価を行い、**わかりやすい授業**(生徒のつまずきに気づくことからすべての生徒にむけてユニバーサルデザインの授業)を行う。
② 学習指導要領の趣旨を生かした教育課程を編成・実施し、指導方法の工夫・改善（特に

少人数授業・ティームティーチング・習熟度別など）によるきめ細かな指導に努め、確かな学力の推進に努める。
③　学習の遅れている生徒の状況を的確に把握し、学習意欲を持たせることを通して基礎基本の定着・向上をめざすとともに、特別支援教育のあり方を研究する。
④　自然体験、社会体験等の直接体験活動を行う。
⑤　地域の人材を学校教育に活かし、「開かれた学校」づくりを進める。
⑥　情報教育を推進し、パソコンの有効活用に全教職員が取り組む。
⑦　ボランティア活動をとおして生徒の社会奉仕の精神と社会参加意識を育む。

４．生徒指導の重点

厳しさの中にやさしさを持ち、粘り強く関わり続けることで、生徒は変わっていきます。教師があきらめてしまえば、生徒は敏感に感じ荒れます。生徒の生活実態・背景、保護者や生徒の思いを知り、せまる生徒指導をめざします。

①　人権尊重の精神に立ち、コミュニケーションを大切にし、生徒を理解して一人ひとりを生かす生徒指導を進める。
②　教師と生徒との信頼関係を大切に心の通った生徒指導を進める。
③　基本的生活習慣の確立を図り、自主的、民主的に行動できる生徒を育成する。
④　保護者、地域との連携を密にし、信頼・協力・協働の関係を築き、指導にあたる。
⑤　全教職員の共通理解(報告・連絡・相談［ホウ・レン・ソウ］)を図り、一致協力した指導体制の確立と実践を行う。

５．健康・安全管理の指導の重点

①　健康管理を自主的に行う態度を育成する。
②　健康な生活を維持し、自ら積極的に体力づくりを行う態度や実践力を養う。
③　学校内外の事故防止のため、安全指導の徹底化に取り組む。
④　「命を大切にする指導」を全教育活動の中で取り組み、性教育の充実・啓発に努める。

＜先生方へのお願い＞

①　不登校の生徒に対して、生徒への連絡・保護者との連携を・・・。

②　課題をもつ生徒に対しては、あきらめず・ねばり強く、人間関係を大切に・・・。

③　指導・取り組みは、学年の協力・指導を得ながら、何事も連係プレーが大切・・・。

④　校長へ伝えたいことがあれば遠慮せずに・・・。できることは、精一杯支援します。

⑤　先生方を知り、子ども達を知るために授業参観をさせていただきますので、よろしくお願いします。

⑥　学校組織として同じ方向を向いて教職員が進んでいくことが、学校の力となっていきます。チームワークを大切にしていきましょう。

＜生徒を育てる４つの「て」だて＞
「褒めて」　「叱って」　「認めて」　「励まして」